

北陸民放クラブだより

富山

永平寺&城下町大野散策ツアー

吉川 精二(KNB)

7月28日、旅行部会は富山を朝7時半に出発、高岡駅経由で高道福井北IC、永平寺町に到着、お昼前に美味しい豆腐料理を戴く。



永平寺
とうふ料理幸家にて

770年の古刹『永平寺』。参拝順路など僧侶の説明の後、七堂伽藍と呼ばれる法堂、仏殿の建物のほか修行僧達の生活の場など見て回った。参道正面の石柱は向かって左側『汲流千億人』(ながれをくむせんおくのひと)、右側『杓底一残水』(しゃくていのいちざんすい)、どんなに水が沢山あっても一滴の水も粗末にしないという禅の教えとか。

続いて大野市へ、街の中心部、小高い山を坂道やら階段を登ると10分余り大野城に辿り着く。

富山城よりやや小ぶりでしょうが、四万石の城下町を見下ろす天守閣へ。そのあとお土産店に立ち寄り帰路に。晴れ時々曇り、総勢26名の真夏の日帰りバス旅行でした。

石川
視覚障害者の人たちに

レコードの音を

喜多美津子(MRO)
それは理事会での福田会長の一言から始まったのです。

「いつもマッサージを受けている視覚障害者の女性と話したらさ、いい音楽をレコードで聴きたいなって話になってさ、なんとかならないかなあ。」

そこで4月の総会の席で会員の皆さんに協力を呼び掛けたのです。さっそく隣の席のKさんから「亡くなった主人がレコードをいっぱい持っていたので、役立ててください」との申し入れが。

それから半年後、ようやくプレーヤー・アンプ・スピーカーが集まりました。

レコードの針を落した瞬間、独

特のアナログ音が広がって懐かしい気持ちになったのです。

まずは視覚障害者の方たちとの鑑賞会を計画しています。他にも施設慰問にも行けそうです。民放クラブらしいボランティア活動ができればと考えています。

福井

「かえるの楽校」

松川 欽哉(FBC)

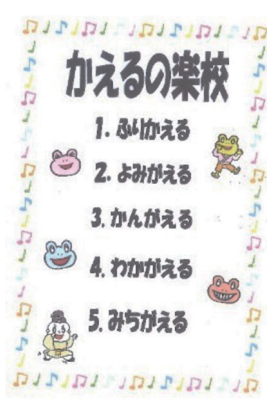
小学校時代に「かえりたい」、そんな夢をかなえてくれるユニークな講座「かえるの楽校」があるので紹介します。

2年前から近くの公民館で60歳以上の住民を対象にしたこの講座がスタートしました。

還暦を過ぎた「児童」約30名が月一度の小学生気分を楽しんでいます。私もピッカピッカの2年生です。

「かえるの楽校」は、もう一度学校に通いたい人に学べる場を提供しようとして酒生公民館が企画したもので、小学校の教科書で国語や社会などの授業を受けたり、家に眠っている「そろばん」を持ち寄り算数の問題に取り組んだり、クラスメートとおしゃべりを楽しみな

がら授業を受けています。小学校の教科書を使い、自分たちの小学校時代を思い出すことで脳の活性化を図るばかりでなく、お孫さんとの会話のきっかけにもなり一石二鳥の効果があります。



「かえるの楽校」は、朝の出欠確認からスタート、みんなで校訓を唱和してから授業を始めます。

授業は30分授業が2回です。授業の終わった後には飲み物やお菓子をつまみながら「放課後」のおしゃべりも楽しんでいきます。

今年の春には、お花見を兼ねた「遠足」も実施しました。

先日は小学校の父兄会にも参加して子どもさん達の授業も見学しました。

皆さんの地区でも「かえるの楽校」開いてみませんか!各地に姉妹校が出来ているんな交流が出来るといいですね。